

## 8-2. 重複投薬者の対象拡大（国保）

### 2次医療圏

市町村	2018年度 加入者数	2018年10月2以上の薬局2成分以上の投薬を受けた	
		患者数（人）	患者割合（%）
千葉医療圏	193,208	477	0.247%
東葛南部医療圏	332,262	771	0.232%
東葛北部医療圏	289,333	718	0.248%
印旛医療圏	165,245	329	0.199%
香取海匠医療圏	79,560	184	0.231%
山武長生夷隅医療圏	120,636	257	0.213%
安房医療圏	35,444	88	0.248%
君津医療圏	73,441	148	0.202%
市原医療圏	62,174	162	0.261%
合計	1,351,303	3,134	0.232%

患者割合における降順

市町村	2018年度 加入者数	2018年10月2以上の薬局2成分以上の投薬を受けた		市町村	2018年度 加入者数	2018年10月2以上の薬局2成分以上の投薬を受けた	
		患者数（人）	患者割合（%）			患者数（人）	患者割合（%）
長生郡白子町	3,413	16	0.469%	船橋市	120,659	263	0.218%
香取郡多古町	4,308	15	0.348%	富里市	13,853	30	0.217%
山武郡横芝光町	6,813	22	0.323%	印西市	18,693	40	0.214%
長生郡長生村	3,734	12	0.321%	佐倉市	40,080	84	0.210%
館山市	12,938	41	0.317%	八千代市	37,004	77	0.208%
印旛郡酒々井町	4,975	14	0.281%	君津市	19,607	40	0.204%
旭市	19,161	51	0.266%	鎌ヶ谷市	24,308	49	0.202%
市川市	93,254	245	0.263%	富津市	11,541	23	0.199%
松戸市	103,377	271	0.262%	印旛郡栄町	5,779	11	0.190%
市原市	62,174	162	0.261%	八街市	19,624	37	0.189%
東金市	16,887	44	0.261%	鴨川市	8,512	16	0.188%
柏市	86,275	223	0.258%	香取市	20,961	39	0.186%
浦安市	27,122	70	0.258%	茂原市	21,883	40	0.183%
大網白里市	13,193	34	0.258%	四街道市	20,825	37	0.178%
長生郡睦沢町	1,951	5	0.256%	木更津市	28,827	51	0.177%
銚子市	18,614	47	0.252%	安房郡鋸南町	2,347	4	0.170%
袖ヶ浦市	13,466	34	0.252%	香取郡東庄町	4,119	7	0.170%
千葉市	193,208	477	0.247%	成田市	28,241	46	0.163%
長生郡長柄町	2,070	5	0.242%	夷隅郡御宿町	2,504	4	0.160%
山武市	16,167	38	0.235%	山武郡九十九里町	4,964	7	0.141%
野田市	37,401	87	0.233%	山武郡芝山町	2,207	3	0.136%
南房総市	11,647	27	0.232%	長生郡一宮町	3,424	4	0.117%
白井市	13,177	30	0.228%	勝浦市	5,190	6	0.116%
習志野市	29,916	67	0.224%	いすみ市	11,505	13	0.113%
匝瑳市	10,830	24	0.222%	長生郡長南町	2,203	2	0.091%
我孫子市	28,545	63	0.221%	夷隅郡大多喜町	2,528	2	0.079%
流山市	33,734	74	0.219%	香取郡神崎町	1,567	1	0.064%
				合計	1,351,303	3,134	0.232%

○ 重複投薬患者数を見ると、東葛南部医療圏が771人と最も多く、重複投薬患者割合を見ると、市原医療圏が0.261%と最も高い。

○ 市町村別では、重複投薬患者数を見ると、千葉市が477人と最も高く、重複投薬患者割合を見ると、長生郡白子町が0.469%と最も高い。

### 市町村

## 8-2. 重複投薬者の対象拡大（後期）

### 2次医療圏

市町村	2018年度 加入者数	2018年10月2以上の薬局2成分以上の投薬を受けた	
		患者数（人）	患者割合（%）
千葉医療圏	118,241	432	0.365%
東葛南部医療圏	193,908	738	0.381%
東葛北部医療圏	172,850	593	0.343%
印旛医療圏	86,759	274	0.316%
香取海匝医療圏	47,459	150	0.316%
山武長生夷隅医療圏	72,311	205	0.283%
安房医療圏	27,576	83	0.301%
君津医療圏	45,797	180	0.393%
市原医療圏	35,374	131	0.370%
合計	800,275	2,786	0.348%

患者割合における降順

市町村	2018年度 加入者数	2018年10月2以上の薬局2成分以上の投薬を受けた		市町村	2018年度 加入者数	2018年10月2以上の薬局2成分以上の投薬を受けた	
		患者数（人）	患者割合（%）			患者数（人）	患者割合（%）
大網白里市	7,024	40	0.569%	佐倉市	24,764	83	0.335%
浦安市	12,084	58	0.480%	松戸市	60,746	201	0.331%
山武郡芝山町	1,251	6	0.480%	旭市	9,497	31	0.326%
市川市	47,747	215	0.450%	君津市	12,681	41	0.323%
富津市	8,218	37	0.450%	夷隅郡御宿町	1,944	6	0.309%
長生郡長生村	2,302	10	0.434%	八千代市	24,560	71	0.289%
木更津市	17,490	74	0.423%	山武市	8,347	24	0.288%
印旛郡酒々井町	2,873	12	0.418%	館山市	9,455	27	0.286%
富里市	5,174	21	0.406%	銚子市	11,595	33	0.285%
安房郡鋸南町	1,976	8	0.405%	長生郡睦沢町	1,413	4	0.283%
匝瑳市	6,297	25	0.397%	香取郡多古町	2,828	8	0.283%
白井市	7,126	27	0.379%	八街市	8,501	24	0.282%
袖ヶ浦市	7,408	28	0.378%	長生郡白子町	2,155	6	0.278%
野田市	20,420	77	0.377%	成田市	13,224	34	0.257%
市原市	35,374	131	0.370%	四街道市	12,868	33	0.256%
船橋市	75,204	276	0.367%	茂原市	13,735	35	0.255%
千葉市	118,241	432	0.365%	山武郡横芝光町	4,345	11	0.253%
香取郡神崎町	1,111	4	0.360%	東金市	7,638	19	0.249%
印西市	9,232	33	0.357%	山武郡九十九里町	2,970	7	0.236%
勝浦市	4,014	14	0.349%	印旛郡栄町	2,998	7	0.234%
習志野市	19,850	69	0.348%	鴨川市	6,637	15	0.226%
南房総市	9,508	33	0.347%	夷隅郡大多喜町	2,030	4	0.197%
柏市	50,449	175	0.347%	いすみ市	7,980	14	0.175%
我孫子市	19,568	67	0.342%	長生郡長柄町	1,309	2	0.153%
香取市	13,533	46	0.340%	香取郡東庄町	2,599	3	0.115%
鎌ヶ谷市	14,463	49	0.339%	長生郡一宮町	2,076	2	0.096%
流山市	21,668	73	0.337%	長生郡長南町	1,778	1	0.056%
				合計	800,275	2,786	0.348%

### 市町村

- 重複投薬患者数を見ると、東葛南部医療圏が738人と最も多く、重複投薬患者割合を見ると、君津医療圏が0.393%と最も高い。
- 市町村別では、重複投薬患者数を見ると、千葉市が432人と最も高く、重複投薬患者割合を見ると、大網白里市が0.569%と最も高い。

## 8-3. 介護保険利用者の過去の病歴の調査（過去5年間）

### ■平成30年度新規アルツハイマー発症における基礎集計（P.130）

- 平成30年度新規アルツハイマー発症者の平成26～30年度1人当たり総医療費は、どの年代においても平成30年度新規アルツハイマー発症者以外よりも高い。その中でも特に「60～64歳」、「65歳～69歳」の値が3倍強となっている。  
⇒60代における疾病傾向を把握し適切な対応を実施することで、より医療費を抑えることが可能となる。

### ■平成30年度新規アルツハイマー発症者（60代）の要介護度・医療費・疾病傾向（P.131）

- 平成30年度新規アルツハイマー発症者の「要介護4または5」における平成30年度1人当たり総医療費は、平成30年度新規アルツハイマー発症者以外と比較するとおよそ2倍となっている。また、平成30年度新規アルツハイマー発症者において平成29年度の主な疾病を見ると、うつ病や骨粗しょう症などの疾病が上位にあがってきている。

### ■5年間の要介護度推移と平成30年度新規アルツハイマー発症者における分析（P.132）

- 5年間介護実績が存在する加入者全体について、特徴的な要介護度推移傾向を持つ7つのグループに分類したのち、平成30年度新規アルツハイマー発症者割合を集計した。
- ⑥要支援状態から要介護状態へ推移するグループの平成30年度新規アルツハイマー発症者割合は、4.0%と他のグループと比べておよそ2倍となっている。また、①要介護度が継続的に上昇するグループも⑥に次いで高くなっている。  
⇒アルツハイマー病を発症するリスクが高いグループであることを示唆する。

### ■平成30年度新規アルツハイマー発症者における要介護度推移別の各疾病に係る医療費増減（P.133）

- 特徴的な要介護度推移をもつ7つのグループについて、加入者全体における5年間のレセプト登場件数上位となる14疾病を特定したのち、疾病ごとの1人当たり年間医療費の増減傾向を分析した。
- 要介護度が上昇するグループ（①・⑥）では、全疾病の医療費が増加傾向にあり、要介護度が下降もしくは横ばいのグループ（②・④・⑦）では、医療費が減少傾向にある  
⇒要介護度の上昇に伴い、医療費が増加することを示唆する。
- 要介護度が上昇するグループ（①・⑥）の医療費増減率から、今回挙げた疾病が要介護度進行に寄与した可能性がある。

※ 今回は、国保・後期の被保険者台帳と、介護データとの紐づけができた対象者について分析対象としている。

### 8-3. 介護保険利用者の過去の病歴の調査（過去5年間）

5年間加入者

#### ■平成30年度新規アルツハイマー発症における基礎集計

##### 集計条件

- 国保または後期に平成26年4月から平成31年3月の間加入している者を集計対象とし、年齢は平成31年3月時点のものを参照する。
- 「平成30年度新規アルツハイマー発症者」：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- 各年齢区分の人数には、レセプト（医療費）が発生していない者を含む。
- 国保から後期への移動履歴は考慮しない。
- 「平成26～30年度1人当たり総医療費」：「平成26～30年度総医療費」÷「人数」の値であり、5年分の1人当たり総医療費とする。

対象者区分	年齢区分	国保			後期		
		人数 (人)	平成26～30年度 総医療費 (円)	平成26～30年度 1人当たり総医療費 (円/人)	人数 (人)	平成26～30年度 総医療費 (円)	平成26～30年度 1人当たり総医療費 (円/人)
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者	～39歳	2	4,963,690	2,481,845	0	0	0
	40～49歳	7	12,356,268	1,765,181	0	0	0
	50～59歳	26	100,460,811	3,863,877	0	0	0
	60～64歳	41	211,299,929	5,153,657	0	0	0
	65～69歳	217	1,087,125,760	5,009,796	0	0	0
	70～74歳	885	3,114,925,741	3,519,690	10	51,940,653	5,194,065
	75～79歳	2	606,950	303,475	62	555,919,855	8,966,449
	80～89歳	0	0	0	7,780	27,809,460,296	3,574,481
	90歳～	0	0	0	2,045	7,221,180,423	3,531,140
	計	1,180	4,531,739,149	3,840,457	9,897	35,638,501,227	3,600,940
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者以外	～39歳	125,413	72,390,659,953	577,218	0	0	0
	40～49歳	95,970	91,298,130,770	951,319	0	0	0
	50～59歳	101,459	132,969,135,806	1,310,570	0	0	0
	60～64歳	68,322	107,048,024,411	1,566,816	0	0	0
	65～69歳	167,339	281,297,887,927	1,681,006	0	0	0
	70～74歳	256,386	503,899,377,419	1,965,393	1,578	12,283,434,474	7,784,179
	75～79歳	830	703,242,474	847,280	5,272	31,497,398,850	5,974,469
	80～89歳	2,264	0	0	417,838	1,171,422,449,262	2,803,533
	90歳～	255	0	0	87,313	259,743,729,825	2,974,857
	計	818,238	1,189,606,458,760	1,453,864	512,001	1,474,947,012,411	2,880,750

#### ■平成30年度新規アルツハイマー発症者（60代）の要介護度・医療費・疾病傾向

##### 集計条件

- 国保または後期に平成26年4月から平成31年3月の間加入している者を集計対象とし、年齢は平成31年3月時点のものを参照する。
- 「平成30年度要介護度区分」：各加入者の平成30年度介護実績における要介護度の最高値を参照し、介護実績が取得できない者は「介護データ無し」とする。
- 「平成30年度新規アルツハイマー発症者」：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- 各要介護度区分の人数には、レセプト（医療費）が発生していない者を含む。
- 国保から後期への移動履歴は考慮しない。
- 「平成29年度の主な疾病（疾病中分類名）」：各要介護度区分の対象者において、平成29年度内に発生したレセプトにおける登場件数1位、2位、3位の疾病中分類名を左から順に列挙した。

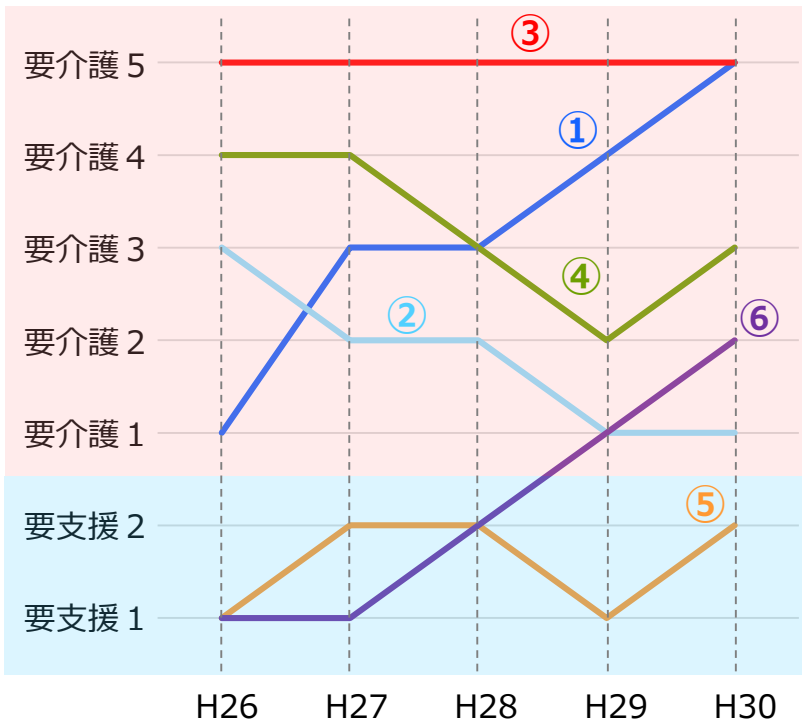
対象者区分	平成30年度 要介護度区分	人数 (人)	平成30年度 総医療費 (円)	平成30年度 1人当たり総医療費 (円/人)	平成29年度の主な疾病（中分類病名）
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者	要介護5	12	39,945,458	3,328,788	リポタンパク代謝障害及びその他の脂血症 詳細不明の糖尿病 パーキンソン病
	要介護4	15	64,902,887	4,326,859	パーキンソン病 てんかん うつ病エピソード
	要介護3	13	25,239,694	1,941,515	詳細不明の糖尿病 ハンチントン病 双極性感情障害
	要介護2	17	27,045,515	1,590,913	パーキンソン病 骨粗しょう症、病的骨折を伴わないもの 喘息
	要介護1	25	37,476,970	1,499,079	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 2型糖尿病
	要支援2	0	0	0	—
	要支援1	2	937,630	468,815	解離性[転換性]障害 その他の網膜障害 詳細不明の糖尿病
	介護データ無し	174	203,416,812	1,169,062	本態性（原発性）高血圧 うつ病エピソード 統合失調症
	計	258	398,964,966	1,546,376	—
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者以外	要介護5	507	1,137,051,582	2,242,705	てんかん その他の腸の機能障害 アルツハイマー病
	要介護4	597	1,255,094,842	2,102,336	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 慢性腎臓病
	要介護3	703	1,391,511,912	1,979,391	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 パーキンソン病
	要介護2	1,037	1,896,453,506	1,828,788	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 慢性腎臓病
	要介護1	816	1,160,583,507	1,422,284	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 統合失調症
	要支援2	291	425,740,227	1,463,025	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 パーキンソン病
	要支援1	125	157,575,420	1,260,603	本態性（原発性）高血圧 詳細不明の糖尿病 パーキンソン病
	介護データ無し	231,585	83,427,099,890	360,244	本態性（原発性）高血圧 リポタンパク代謝障害及びその他の脂血症 詳細不明の糖尿病
	計	235,661	90,851,110,886	385,516	—

#### ■ 5年間の要介護度推移と平成30年度新規アルツハイマー発症者における分析

##### 集計条件

- 平成26～30年度において、それぞれの年度で介護実績がある者のみ集計対象とする。
- 各加入者の要介護度は、各年度における要介護度の最高値を参照し平成30年度介護実績における要介護度の最高値を参照する。
- 「平成30年度新規アルツハイマー発症者」：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- 「要介護状態」：要介護度が「要介護1」～「要介護5」の間を推移している状態。
- 「要支援状態」：要介護度が「要支援1」～「要支援2」の間を推移している状態。
- 「要介護度が上昇」：5年間で要介護度が上昇し続けている状態。
- 「要介護度が下降」：5年間で要介護度が下降し続けている状態。

##### ※要介護度グループ凡例



項番	グループ別概要	人数 (人)	平成30年度 新規アルツハイマー 発症者数 (人)	平成30年度 新規アルツハイマー 発症者割合 (%)	
①	5年間 要介護 状態	要介護度が上昇	28,129	580	2.1
②		要介護度が下降	1,057	15	1.4
③		5年間 「要介護5」の状態	2,622	30	1.1
④		①～③以外	17,296	319	1.8
⑤	5年間要支援状態	3,124	37	1.2	
⑥	5年間のうちに 要支援状態から要介護状態へ推移	8,346	338	4.0	
⑦	①～⑥以外	1,291	15	1.2	
計		61,865	1,334	2.2	

### 8-3. 介護保険利用者の過去の病歴の調査（過去5年間）

5年間加入者

5年間介護有

#### ■平成30年度新規アルツハイマー発症者における要介護度推移別の各疾病に係る医療費増減

##### 集計条件

- 平成30年度新規アルツハイマー発症者、かつ5年間介護実績がある者のみ集計対象とする。
- 各加入者の要介護度は、各年度における要介護度の最高値を参照し平成30年度介護実績における要介護度の最高値を参照する。
- 「平成30年度新規アルツハイマー発症者」：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- 平成30年度発生レセプトにおける登場件数上位14位の疾病について集計した。
- 「平成26→30年度の1人当たり年間医療費増減率」：疾病ごとに平成26年度1人当たり年間医療費を100%としたときの、平成30年度1人当たり年間医療費の割合。

		平成26→30年度の1人当たり年間医療費増減率（%）							
		0.0%～99.9%		100.0%～149.9%		150.0%～199.9%		200%～	
ICD10 コード	疾病中分類名	①要介護度が上昇	②要介護度が下降	③5年間 「要介護5」の状態	④①～③以外	⑤5年間要支援状態	⑥5年間のうちに 要支援状態から 要介護状態へ推移	⑦①～⑥以外	
								複数パターンあり	
E11	2型糖尿病	167.6	140.7	197.2	78.0	96.1	241.7	310.7	
E14	詳細不明の糖尿病	173.0	91.2	96.2	71.5	114.5	239.6	126.7	
E78	脂質異常症	164.7	100.7	102.5	83.1	173.6	216.6	45.5	
G47	睡眠障害	162.3	83.9	273.9	97.4	135.8	199.8	38.9	
H40	緑内障	121.1	130.3	-	68.4	209.8	143.7	98.9	
I10	本態性（原発性）高血圧（症）	173.7	96.4	130.2	95.4	130.6	204.6	53.3	
I20	狭心症	190.0	125.7	218.8	105.3	147.3	220.9	36.1	
I48	心房細動及び粗動	170.5	209.8	371.2	111.9	133.2	206.6	-	
I50	心不全	173.0	132.3	251.1	104.5	233.0	265.8	46.3	
K21	胃食道逆流症	169.1	106.8	92.6	91.9	137.7	219.7	43.2	
K29	胃炎及び十二指腸炎	171.2	178.9	248.1	102.6	163.4	204.1	42.0	
K59	腸の機能障害	157.5	94.4	150.4	81.8	200.2	205.8	34.4	
M17	膝関節症〔膝の関節症〕	209.0	166.4	-	88.6	174.9	182.9	18.2	
M81	骨粗しょう症、病的骨折を伴わないもの	182.6	90.8	117.2	104.6	141.6	181.5	60.9	

### 8-3. 介護保険利用者の過去の病歴の調査（過去5年間）

5年間加入者

5年間介護有

#### ■ 要介護度推移別の各年代における平成30年度の介護保険利用者数

##### 集計条件

- 国保または後期に平成26年4月から平成31年3月の間加入している者、かつ5年間介護実績がある者のみ集計対象とし、年齢は平成31年3月時点のものを参照。
- 平成30年度新規アルツハイマー発症者：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- レセプト（医療費）が発生していない者を含む。
- 国保から後期への移動履歴は考慮しない。

対象者区分	年齢区分	平成30年度介護保険利用者数（人）						
		①要介護度が上昇	②要介護度が下降	③5年間「要介護5」の状態	④①～③以外	⑤5年間要支援状態	⑥5年間のうちに要支援状態から要介護状態へ推移	⑦①～⑥以外 <small>複数パターンあり</small>
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者	40～49歳	0	0	0	0	0	0	0
	50～59歳	0	0	0	0	0	0	0
	60～64歳	1	0	0	0	0	0	0
	65～69歳	8	0	0	3	0	1	0
	70～74歳	24	2	1	16	1	8	1
	75～79歳	13	0	0	6	0	1	0
	80～89歳	259	7	20	175	28	210	10
	90歳～	275	6	9	119	8	118	4
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者以外	40～49歳	13	2	7	26	3	3	0
	50～59歳	97	12	47	162	15	11	13
	60～64歳	151	15	38	212	20	18	14
	65～69歳	434	44	104	533	60	59	28
	70～74歳	1,158	100	237	1,368	175	239	106
	75～79歳	388	33	94	370	47	58	19
	80～89歳	13,066	503	1,162	8,260	1,950	4,274	797
	90歳～	12,242	333	903	6,046	817	3,346	299

※ 「～39歳」の該当者は0名。



### 8-3. 介護保険利用者の過去の病歴の調査（過去5年間）

5年間加入者

5年間介護有

#### ■ 要介護度推移別の各年代における平成30年度1人当たり医療費

##### 集計条件

- 国保または後期に平成26年4月から平成31年3月の間加入している者、かつ5年間介護実績がある者のみ集計対象とし、年齢は平成31年3月時点のものを参照。
- 平成30年度新規アルツハイマー発症者：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- レセプト（医療費）が発生していない者を含む。
- 「平成30年度1人当たり総医療費」：「平成30年度総医療費」÷「人数」にて算出。
- 国保から後期への移動履歴は考慮しない。

対象者区分	年齢区分	平成30年度1人当たり総医療費（円/人）						
		①要介護度が上昇	②要介護度が下降	③5年間「要介護5」の状態	④①～③以外	⑤5年間要支援状態	⑥5年間のうちに要支援状態から要介護状態へ推移	⑦①～⑥以外 複数パターンあり
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者	40～49歳	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	1,497,200	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	2,448,056	-	-	1,048,002	-	3,497,730	-
	70～74歳	1,554,796	706,070	314,090	2,408,619	3,660,114	1,761,034	2,334,480
	75～79歳	2,438,729	-	-	1,979,135	-	3,642,560	-
	80～89歳	1,914,461	1,347,754	1,134,047	1,193,454	660,999	1,769,537	1,050,021
	90歳～	1,477,401	1,309,305	1,777,925	1,342,579	2,402,578	1,299,194	580,313
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者以外	40～49歳	1,189,286	3,376,080	1,837,433	1,729,747	809,160	3,008,040	-
	50～59歳	1,600,725	519,883	1,501,152	1,093,826	701,059	885,106	365,471
	60～64歳	1,493,818	942,566	1,493,785	890,332	887,834	1,660,235	820,161
	65～69歳	1,702,669	961,180	1,870,298	1,052,984	800,075	1,790,647	763,847
	70～74歳	1,437,775	892,877	1,428,508	1,008,814	784,402	1,478,784	818,083
	75～79歳	1,461,258	1,237,440	1,601,517	1,163,776	756,233	1,472,813	1,051,139
	80～89歳	1,121,983	837,350	1,034,292	886,535	765,431	1,234,953	864,643
	90歳～	852,504	713,069	784,700	711,981	659,890	929,153	707,871

※「～39歳」の該当者は0名。

### 8-3. 介護保険利用者の過去の病歴の調査（過去5年間）

5年間加入者

5年間介護有

#### ■ 要介護度推移別の各年代における医療費増減

##### 集計条件

- 国保または後期に平成26年4月から平成31年3月の間加入している者、かつ5年間介護実績がある者のみ集計対象とし、年齢は平成31年3月時点のものを参照。
- 平成30年度新規アルツハイマー発症者：平成26～30年度で平成30年度に初めてアルツハイマー型認知症（G30）と診断された者。
- レセプト（医療費）が発生していない者を含む。
- 「平成26→30年度の1人当たり年間医療費増減率」：平成26年度1人当たり年間医療費を100%としたときの、平成30年度1人当たり年間医療費の割合。
- 国保から後期への移動履歴は考慮しない。

0.0%～99.9%	100.0%～149.9%	150.0%～199.9%	200%～
------------	---------------	---------------	-------

対象者区分	年齢区分	平成26→30年度の1人当たり年間医療費増減率（%）						
		①要介護度が上昇	②要介護度が下降	③5年間「要介護5」の状態	④①～③以外	⑤5年間要支援状態	⑥5年間のうちに要支援状態から要介護状態へ推移	⑦①～⑥以外 <small>複数パターンあり</small>
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者	40～49歳	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	168.9	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	144.7	-	-	334.7	-	242.7	-
	70～74歳	116.9	169.6	162.2	93.4	569.8	161.7	1019.7
	75～79歳	177.2	-	-	74.1	-	377.2	-
	80～89歳	177.8	86.7	139.9	82.8	72.5	197.0	53.3
	90歳～	230.9	77.1	415.1	148.7	377.5	264.9	76.5
平成30年度 新規アルツハイマー 発症者以外	40～49歳	145.7	76.7	127.4	83.0	108.1	151.0	-
	50～59歳	93.5	34.6	74.9	92.9	75.8	120.5	96.8
	60～64歳	103.2	80.7	116.6	85.2	82.1	236.0	64.2
	65～69歳	127.0	78.5	117.0	81.3	65.7	133.7	34.3
	70～74歳	110.1	58.9	88.2	73.9	90.5	113.5	41.5
	75～79歳	134.6	114.7	148.6	116.8	89.8	131.3	86.3
	80～89歳	113.0	73.1	87.9	76.1	87.4	140.8	56.1
	90歳～	118.0	77.8	90.7	81.5	102.4	147.5	63.5

※「～39歳」の該当者は0名。